東伯中学校テニスコート整備工事　設計書

鳥取県米子市道笑町2丁目126番地
株式会社 桑本建築設計事務所
TEL（0859）32-3745（代）
FAX（0859）22-1706

東伯中学校テニスコート整備工事　内訳書

一金　　円也

（うち取引に係る消費税及び地方消費税額　金　　円）

建築面積　　㎡

延べ面積　　㎡

鳥取県米子市道笑町2丁目126番地
株式会社 桑本建築設計事務所
TEL(0859)32-3745(代)
FAX(0859)22-1706

内訳

No . 1

名称	品名	数量	単位	単価	金額	備考
A. テニスコート整備工事		1	式			
直接工事費計						
B. 共通仮設費	積み上げ分共	1	式			
純工事費計						
C. 現場経費		1	式			
工事原価						
D. 一般管理費		1	式			
工事価格						
E. 消費税等相当額		1	式			
合計						

名　　称	品　　名	数　量	単 位	単　価	金　　額	備　　考
A. テニスコート整備工事						
1. 直接仮設工事		1.0	式			
2. テニスコート新設工事		1.0	式			
3. 既存テニスコート改修工事		1.0	式			
4. その他工事		1.0	式			
A　計						

名　　称	品　　名	数　量	単 位	単　価	金　　額	備　　考
1. 直接仮設工事						
やり方、墨だし		1.0	式			
整理清掃・跡片付け		1.0	式			
計						

名　　称	品　　名	数　量	単 位	単　価	金　　額	備　　考
2. テニスコート新設工事						
モストクレイ舗装	真砂土t70、ソイレックスt30	625.0	m2			
同上路盤工	再生砕石t100	62.5	m3			
コンクリート縁石	地先境界ブロックA　120×120×600	23.0	m			
鉄筋コンクリート角フリューム	200型	32.0	m			
スチールグレーチング蓋	200型用、細目プレーン	3.0	m			
メッシュフェンス	H=2,000　基礎ブロック　250×250×450	53.8	m			
同上扉	両開き　H=2,000	2.0	箇所			
コンクリート擁壁	H=1100	3.4	m			
コンクリート擁壁	重力式	20.8	m			
土間コンクリート	t120、ワイヤーメッシュ6φ-100 コンクリー金コテ押さえ	10.1	m2			
階段コンクリート	3段　コンクリート金コテ押さえ、段鼻タイル	3.5	m			
盛土	購入土、法面生成、グランド取合い共	112.0	m3			
法面緑化	野芝　べた張り	65.5	m2			
土工機械運搬費		1.0	式			
集水桝	450角、コンクリート蓋	1.0	ヶ所			
排水管	φ150	3.5	m			
排水管接続費	コア抜き	1.0	式			

名　　称	品　　名	数　量	単 位	単　価	金　　額	備　　考
コートラインテープ	ソフトテニス用	1.0	面			
テニスネット	ソフトテニス用	1.0	張			
テニスポスト	ステンレス製、ステンレス製ウインチ付	1.0	組			
同上基礎	700×700×700H	1.0	組			
審判台	鉄製粉黛焼付塗装	1.0	台			
計						

名　　称	品　　名	数　量	単 位	単　価	金　　額	備　　考
3. 既設テニスコート改修工事						
既設表面すきとり	不陸整正共	930.0	m2			
発生材処分費	すきとり土	27.9	m3			
既設フェンス撤去	積込み運搬・処分	124.0	m			
既存ポスト、ラインテープ撤去	審判台共、積込み運搬・処分共	1.0	式			
メッシュフェンス	H=2,000　基礎ブロック　250×250×450	124.0	m			
同上扉	片開き　H=2,000	1.0	箇所			
同上扉	両開き　H=2,000	1.0	箇所			
ソイルサンドクレイ舗装		930.0	m2			
コートラインテープ	ソフトテニス用	1.0	面			
テニスネット	ソフトテニス用	1.0	張			
テニスポスト	ステンレス製、ステンレス製ウインチ付	1.0	組			
同上基礎	700×700×700H	1.0	組			
審判台	鉄製粉黛焼付塗装	1.0	台			
土工機械運搬費		1.0	式			
計						

名　　称	品　　名	数　量	単 位	単　価	金　　額	備　　考
4. その他工事						
掲揚ポール紐	取替	3.0	箇所			
高所作業車		0.5	日			
計						

名　　称	品　　名	数　量	単 位	単　価	金　　額	備　　考
共通仮設費(積み上げ分)						
運搬経路復旧	真砂土転圧	32.0	m3			
敷鉄板	1ヶ月	51.8	m2			
交通誘導員		15.0	人			
計						

東伯中学校テニスコート整備工事

株式会社 桑本建築設計事務所

建　築　工　事　仕　様　書

Ⅰ．　工　事　概　要

１．工事場所　　東伯郡琴浦町徳万

２．地域地区　　都市計画地域（ ⊙ 内 ・ 外 ）
　　用途地域等　（　　）

３．敷地面積　　㎡

４．建物概要

番号	名　称	工事種別	構　造	階数	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)
1						
2						
3						
4						
5						

Ⅱ．　建　築　工　事　仕　様

１．一般事項

（１）質問回答書、現場説明書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成２２年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。ただし、アスベスト成形板の処理等は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成１９年版）」（以下「改修標準仕様書書」という。）による。

（２）電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

２．特記仕様

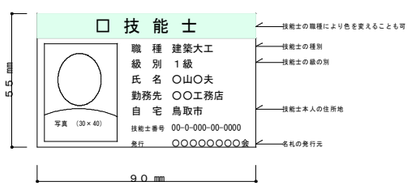
（１）章及び項目は番号に○印のついたものを適用する
（２）特記事項は○印のついたものを適用する
　　○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する
　　○と◎のついた場合は共に適用する
（３）項目に記載の（　　）内表示番号等は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す
（４）材料及び製造所等の記載は順不同である

章		項　目	特　記　事　項
①一般共通事項	①	適用基準等	※　建築工事標準図　　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成１７年版） （以下「標準詳細図」という） ※　建築工事監理指針（上巻・下巻）　　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成１９年版） ※　工事写真の撮り方（改定第二版）建築編　　建設大臣官房官庁営繕部監修 ・　鉄筋コンクリート構造配筋要領　　建設大臣官房官庁営繕部監修（平成１１年版） ・　鉄骨設計標準図　　建設大臣官房官庁営繕部監修（平成９年版） ・　木造建築工事標準仕様書　　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成１６年版） ・ ・
	②	官公庁その他への手続 (1.1.3)	工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする。
	3	電気保安技術者 (1.3.3)	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規定第５条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。
	④	工事安全計画書 (1.3.7)	建設工事安全施工技術指針及び建築公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
	⑤	発生材の処理等 (1.3.8)	・　引き渡しを要するもの（　　） ・　現場において再利用を図るもの（　　） ・　特別管理産業廃棄物（　　） ・　再資源化を図るもの （・　コンクリート塊　　・　アスファルトコンクリート塊　　・　建設発生木材） ・
	⑥	環境への配慮 (1.4.1)	化学物質を放散させる建築材料等 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の１）から５）を満たすものとする。 １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ３）接着剤はフタル酸ジｎ－ブチル及びフタル酸ジー２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ５）１）、３）及び４）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、そのたの什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量　規制対象外 ア．ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品 イ．建築基準法施行令第２０条の７ 第４項による国土交通大臣認定品 ウ．下記表示のあるＪＡＳ規格品 ア）．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 イ）．接着剤等不使用 ウ）．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 エ）．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 オ）．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 カ）．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 ホルムアルデヒド放散量　第三種 ア．ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品 イ．建築基準法施行令第２０条の７ 第３項による国土交通大臣認定品 ウ．旧ＪＩＳのＥｏ規格品 エ．旧ＪＡＳのＦｃｏ規格品

章		項　目	特　記　事　項
①一般共通事項	⑦	材料の品質等 (1.4.2)	本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、ＪＩＳ及びＪＡＳマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の１）～６）の事項を満たすものとする。 １）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ３）安定的な供給可能であること。 ４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ６）販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。
	⑧	特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品等の指定工法による。
	9	技能士 (1.5.2)	下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、１名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。 （技能士：職業能力開発促進法による一級技能士又は単一等級の資格を有する者） また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札（下図参考）を常時着用すること。

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	・　とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	・　鉄筋組立作業
コンクリート工事	型枠施工	・　型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	・　コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	鉄骨	・　構造物鉄鋼作業
	とび	・　とび作業
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ ALCパネル 押出成形セメント板 } 工事	ブロック建築	・　コンクリートブロック工事作業
		・　ＡＬＣパネル工事作業
防水工事	防水施工	・　アスファルト防水工事作業
		・　ウレタンゴム系塗膜防水工事作業
		・　アクリルゴム系塗膜防水工事作業
		・　合成ゴム系シート防水工事作業
		・　塩化ビニル系シート防水工事作業
		・　セメント系防水工事作業
		・　シーリング防水工事作業
		・　改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業
		・　ＦＲＰ防水工事作業
石工事	石材施工	・　石張り作業
タイル工事	タイル張り	・　タイル張り作業
木工事	建築大工	・　大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	・　内外装板金作業
	スレート施工	・　スレート工事作業
金属工事	内装仕上施工	・　鋼製下地工事作業
	建築板金	・　内外装板金作業
左官工事	左官	・　左官作業
建具工事	サッシ施工	・　ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・　ガラス工事作業
	自動ドア施工	・　自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・　金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	・　ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・　ガラス工事作業
塗装工事	塗装	・　建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	・　プラスチック系床仕上工事作業
		・　カーペット系床仕上作業
		・　ボード仕上工事作業
	表装	・　壁装作業
排水工事	配管	・　建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	・　溶融ペイントハンドマーカー工事作業
		・　加熱ペイントマシンマーカー工事作業
植栽工事	造園	・　造園工事作業
畳工事	畳	・　畳製作作業
		・
		・
		・
		・

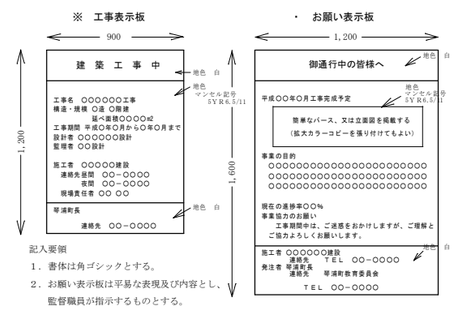
《技能士名札参考図》



章		項　目	特　記　事　項
①一般共通事項	⑫	完成写真	下記のものを監督職員に提出する。

区　分	分類・規格	撮影箇所	部数	原版の大きさ(㎜)
※　工事記録写真	カラーサービス判	各工種の工程毎	２部	・　24× 36以上
※　完成写真	カラーサービス判	・　内部主要箇所	２部	・　24× 36以上
		(・) 外部各面箇所	２部	・　24× 36以上
・	カラーキャビネ判	・　内部　箇所	部	・　24× 36以上
		・　外部　箇所	部	・　24× 36以上
・　パネル	カラー	・　四ッ切　箇所	２部	・　100×125以上
		・　半切　箇所		・　24× 36以上
		・　全紙　箇所		
・				

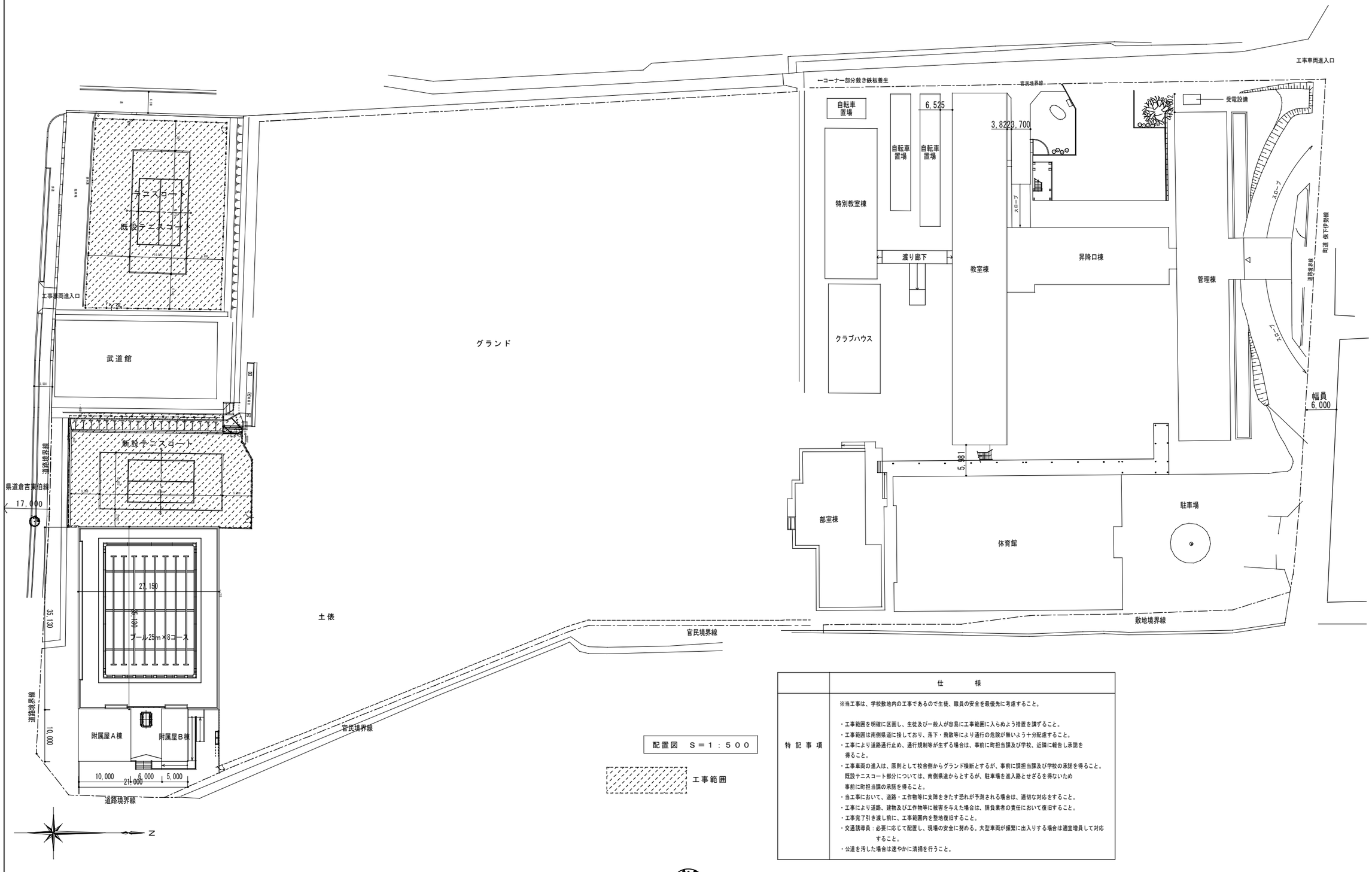
(・) 電子データ及びネガの提出［工事記録写真］　（(・) 要 ・ 不要）
(・) 電子データ及びネガの提出［完成写真］　（(・) 要 ・ 不要）

章		項　目	特　記　事　項
①一般共通事項	⑬	完成図 (1.7.2)	下記のものを監督職員に提出する。 (・) 原図Ａ１版又はＡ２版（設計図の第２原図訂正不可）　部 (・) ＣＡＤデータ　部 (・) 原図の隔画複写紙の２つ折製本　部 ・　原図の縮小版の隔画複写紙の２つ折製本（Ａ４版）　部 ・　複写　縮小版Ａ３パラ焼　部 完成図の種類及び内容 (・) 案内図・配置図・面積表 ： 配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む。（ＢＭの表示） (・) 平面図 ： 室名、耐震壁（防火壁）、避難施設等を表示する。 (・) 立面図 ： 外壁仕上等を表示する。 (・) 断面図 ： 階高、天井高等を表示する。 (・) 仕上表 ： 屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する。 (・) その他 ：
	⑭	施工図及び施工計画書 (1.7.2)	提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
	⑮	保全に関する資料 (1.7.3)	下記のものをＪＩＳ Ａ４版ファイルに製本して監督職員に提出する。 ・　主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表 ・　機器性能試験成績書及び取扱説明書 ・　保証書 ・　官公署届出書類（保守に必要とするもの） ・　建築物の保守に関する説明書、指導案内書 ・ ・ ・
	⑯	設計ＧＬ	※　図示　　・　（　　）
	17	耐荷重及び耐外力	建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速等　Vo=　m/s 地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ 積雪区分　（　m）
	⑱	火災保険等	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。（保険の加入期間は、工事完成引き渡しまでとする。）
	19	グリーン購入	グリーン購入は次のものとする。 ・　タイル　・　再生木質ボード　・　断熱材　・　・
	20	環境配慮	鳥取県公共工事環境配慮指針　※　対象工事　・　非対象工事
	21	建設リサイクル法	※　対象工事　・　非対象工事
	22	鳥取県福祉のまちづくり条例	※　対象工事　・　非対象工事
	23	鳥取県景観形成条例	※　対象工事　・　非対象工事
	24	バリアフリー法	※　対象工事　・　非対象工事
	25	省エネ法	※　対象工事　・　非対象工事
②仮設工事	1	足場その他 (2.2.4)	枠組み足場の場合 「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省　平成21年6月）」により、設置については同ガイドラインに基づく働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりと幅木の機能を有する部材が備えられた手すり先行専用足場型とするか、または改善措置機材を用いて手すり専用足場型と同等の機能を確保するものとする。
	2	監督員事務所 (2.3.1)	※　設ける（　㎡）　・　設けない 備品等は監督職員の指示による。
	③	表示板	※　工事表示板　　・　お願い表示板  記入要領 １．書体は角ゴシックとする。 ２．お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督職員が指示するものとする。
	④	工事用水	構内既存の施設　・　利用できる（ ※　有償　・　無償 ）　・　利用できない
	⑤	工事用電力	構内既存の施設　・　利用できる（ ※　有償　・　無償 ）　・　利用できない
	6	工事用仮設物	構内への設置　・　できる　・　できない
	7	工事現場のイメージアップ	

TITLE	NAME	SCALE	DATE	CHECK	DRAWING
東伯中学校テニスコート整備工事	特記仕様書	---	Ｈ２２．９	桑	高田

株式会社 桑本建築設計事務所
一級建築士事務所　登録第２０－３５５号　一級建築士登録第２０９６８０号　松山　久

NO　A 6―1



配置図　S＝1：500

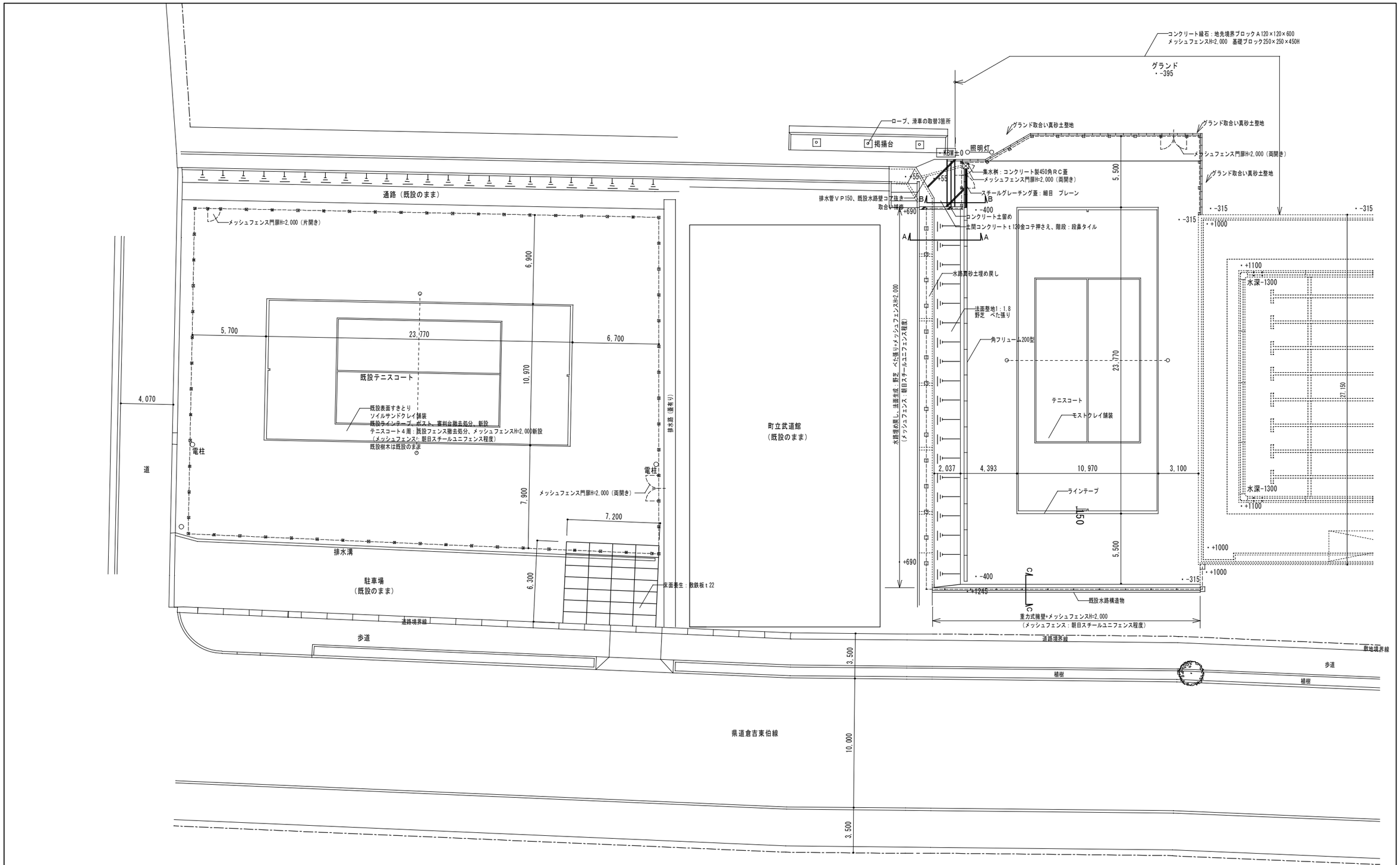
工事範囲

	仕　　様
特記事項	※当工事は、学校敷地内の工事であるので生徒、職員の安全を最優先に考慮すること。 ・工事範囲を明確に区画し、生徒及び一般人が容易に工事範囲に入らぬよう措置を講ずること。 ・工事範囲は南側県道に接しており、落下・飛散等により通行の危険が無いよう十分配慮すること。 ・工事により道路通行止め、通行規制等が生ずる場合は、事前に町担当課及び学校、近隣に報告し承諾を得ること。 ・工事車両の進入は、原則として校舎側からグランド横断とするが、事前に調担当課及び学校の承諾を得ること。既設テニスコート部分については、南側県道からとするが、駐車場を進入路とせざるを得ないため事前に町担当課の承諾を得ること。 ・当工事において、道路・工作物等に支障をきたす恐れが予測される場合は、適切な対応をすること。 ・工事により道路、建物及び工作物等に被害を与えた場合は、請負業者の責任において復旧すること。 ・工事完了引き渡し前に、工事範囲内を整地復旧すること。 ・交通誘導員：必要に応じて配置し、現場の安全に努める。大型車両が頻繁に出入りする場合は適宜増員して対応すること。 ・公道を汚した場合は速やかに清掃を行うこと。

TITLE	NAME	SCALE	DATE	CHECK	DRAWING
東伯中学校テニスコート整備工事	配置図	1：500	H22．9	松	高田

株式会社 桑本建築設計事務所
一級建築士事務所　登録第２０－３５５号　一級建築士登録第２０９６８０号　松山　久

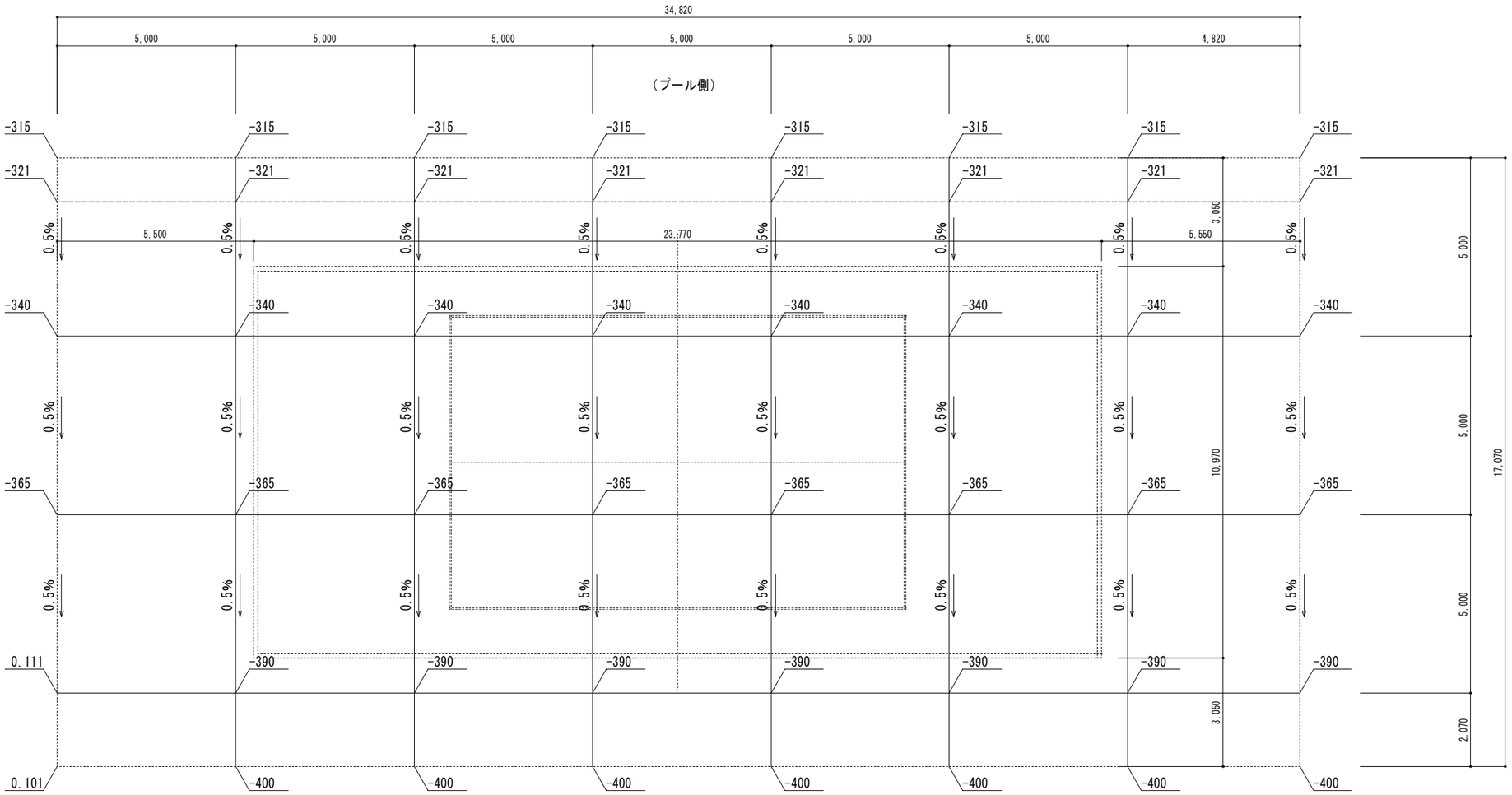
NO 6－A－2



平　面　図　S＝1：200

TITLE	NAME	SCALE	DATE	CHECK	DRAWING		NO
東伯中学校テニスコート整備工事	平　面　図	1：200	H22．9	桝	高田		A 6—3

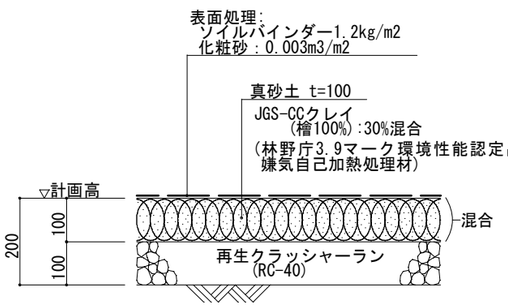
株式会社 桑本建築設計事務所
一級建築士事務所　登録第２０－３５５号　一級建築士登録第２０９６８０号　松山　久



数字はＫＢＭ±０からの高さを示す。

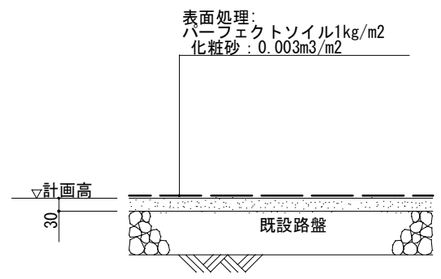
テニスコート 仕上げ平面図　Ｓ＝１：１００

舗装断面図　S=1:10



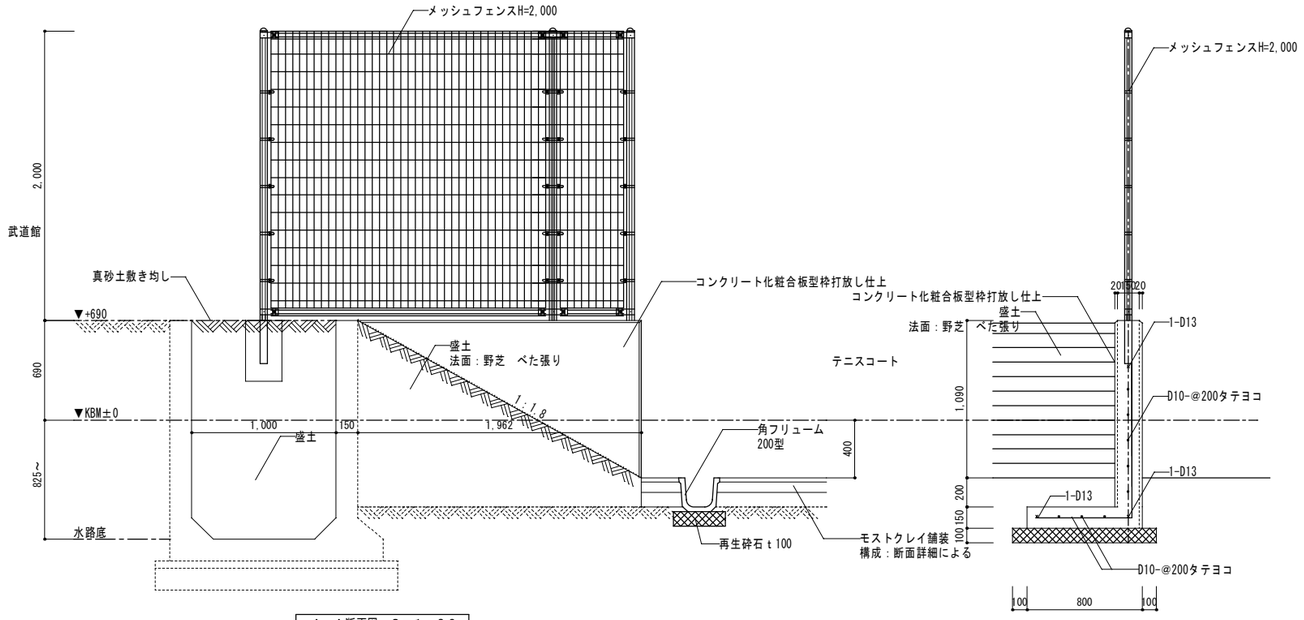
新設テニスコート

舗装断面図　S=1:10

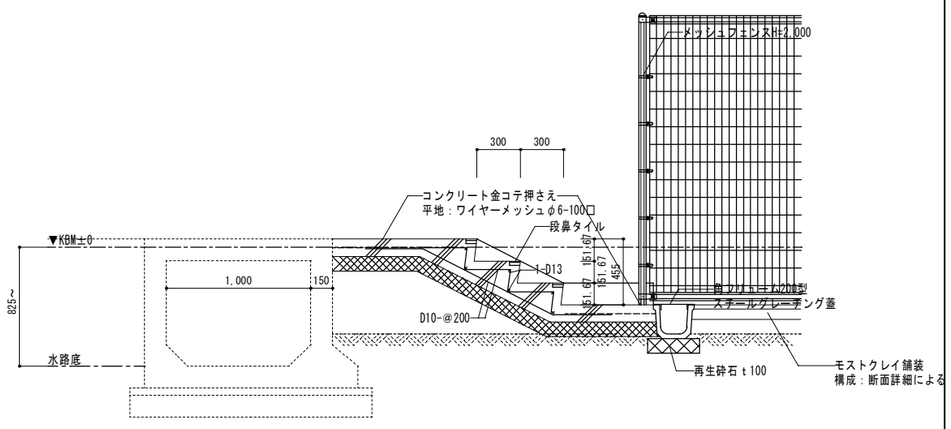


既設テニスコート改修

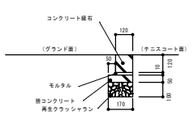
TITLE	NAME	SCALE	DATE	CHECK / DRAWING	株式会社 桑本建築設計事務所	NO
東伯中学校テニスコート整備工事	仕上平面図	1：100	H22. 9	桑 / 高田	一級建築士事務所　登録第２０－３５５号　一級建築士登録第２０９６８０号　松山　久	A 6—4



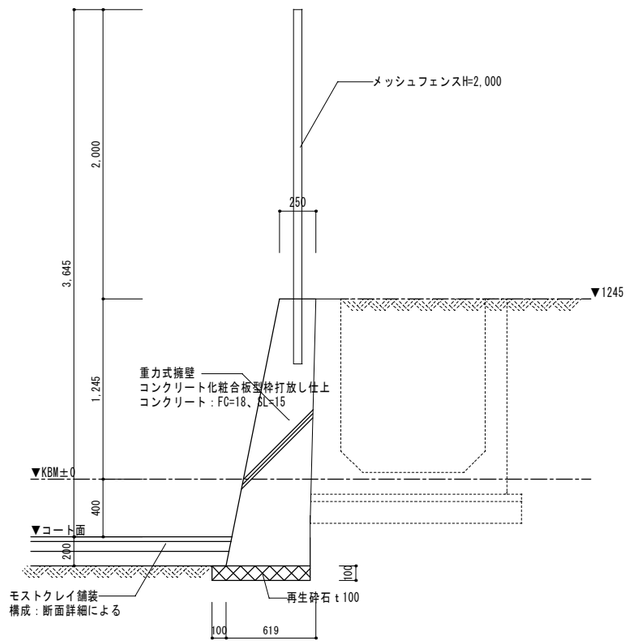
Ａ－Ａ断面図　Ｓ＝１：３０



Ｂ－Ｂ断面図　Ｓ＝１：３０



縁石断面図　Ｓ＝１：３０

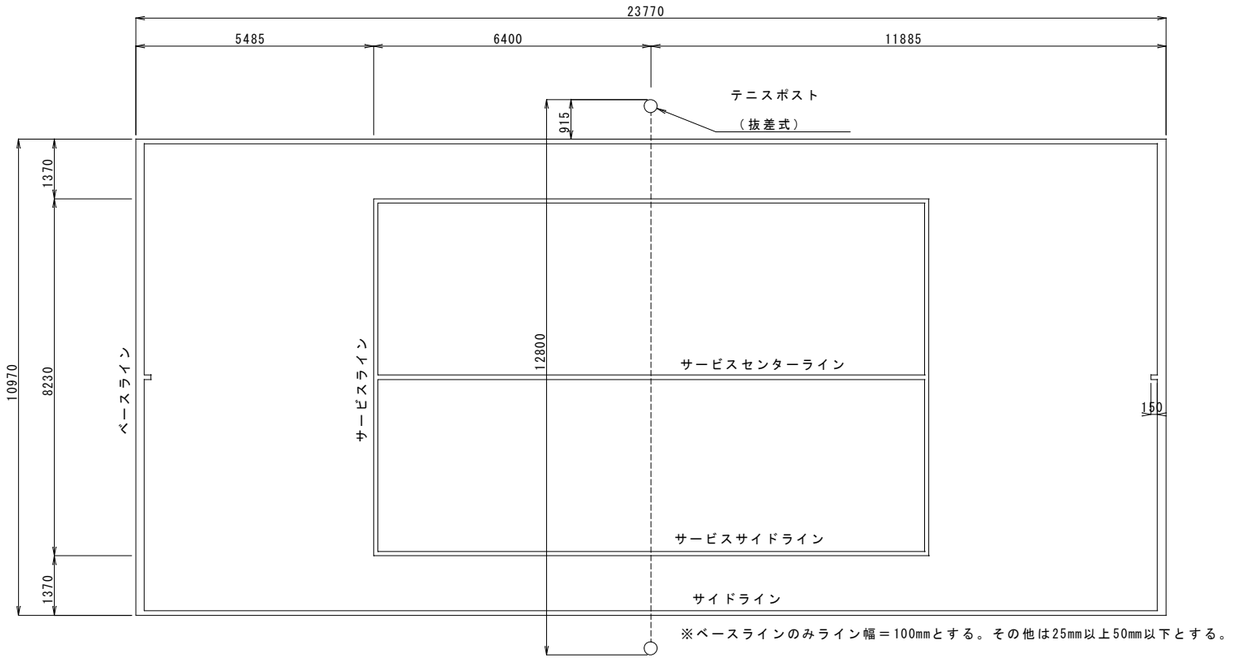


Ｃ－Ｃ断面図　Ｓ＝１：３０

TITLE	NAME	SCALE	DATE	CHECK / DRAWING	
東伯中学校テニスコート整備工事	部分詳細図	１：３０	Ｈ２２．９	松 / 高田	

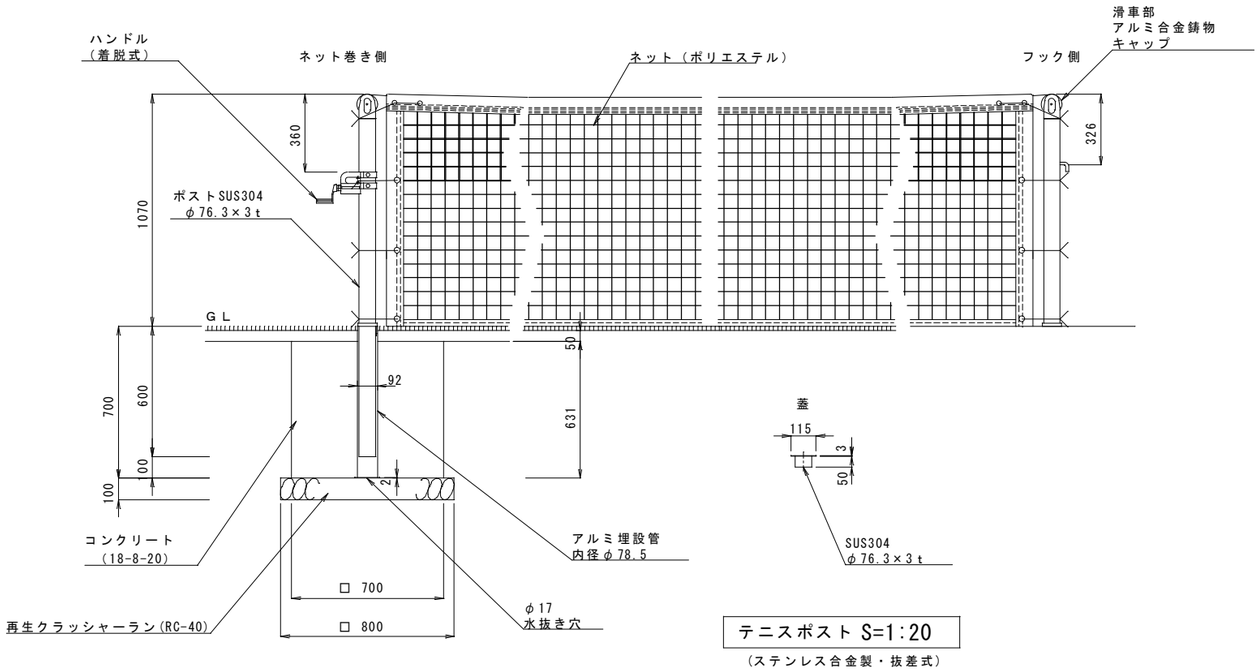
株式会社 桑本建築設計事務所
一級建築士事務所　登録第２０－３５５号　一級建築士登録第２０９６８０号　松山　久

NO 6－A－5



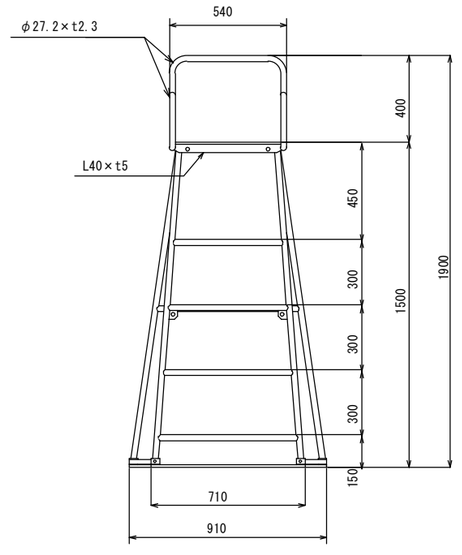
※ベースラインのみライン幅＝100mmとする。その他は25mm以上50mm以下とする。

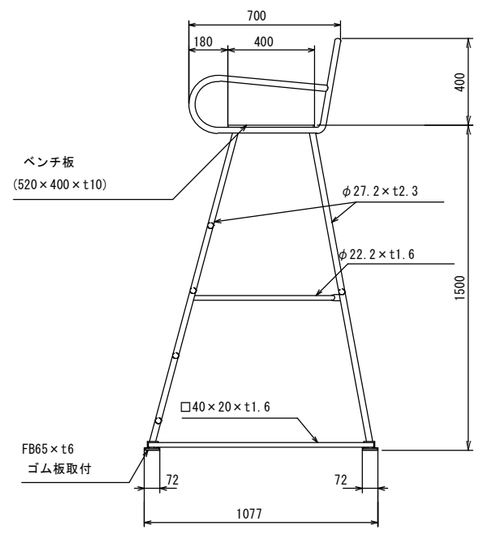
テニスコート寸法図 S=1:100



テニスポスト S=1:20

（ステンレス合金製・抜差式）





テニス審判台 S=1:20

仕様
フレーム：一般構造用炭素鋼鋼管（JIS G3444 STK）
粉体焼付塗装　緑色
ベンチ板：高圧メラミン化粧板木目調
組立式
重量：28kg

TITLE	NAME	SCALE	DATE	CHECK / DRAWING		NO
東伯中学校テニスコート整備工事	テニスコート 寸法図	1：20 1：100	H22. 9	桑本 / 高田	株式会社 桑本建築設計事務所 一級建築士事務所　登録第２０－３５５号　一級建築士登録第２０９６８０号　松山　久	A 6—6